

地域と連携した 学びをめざして



愛知産業大学学長
堀越 哲美 氏

教育随想



平成 29 年 2 月 1 日

2 月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
愛知産業大学学長 堀越 哲美 氏	
この人に聞く……………	2
オーナーシェフ 宮田 拓矢 氏	
羅 針 盤 ……………	2
本宿小学校長 福田 貴子	
ふれあい……………	3
竜谷小 太田 由惟	
特 集……………	4
岡崎の認定こども園	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー… 二階建て体育館 (昭和 57 年)	
この本を……………	8

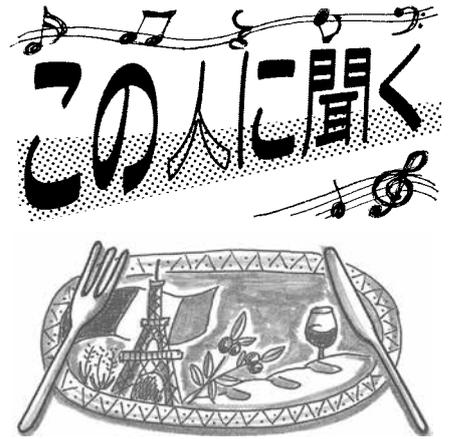
大学での教育は、どうあるべきか
話題になることが最近多くなりま
した。小中高と学んで大学へ入ると、
大きく違った印象を持つ学生も多い
ようです。よく言われるのが、高校
までは受験を意識して「正解を覚え
る」「正解を出す」ことに重きをおき、
「原理を考える」大学との違いです。
前者では、いわば型にはまった教育
として受け、後者では自ら考えるこ
とに重点が置かれるからとも言われ
ます。しかし果たしてそうなのでしょ
うか。同年齢の約五割が大学へ進学
する状況になり、どのように特徴的
な教育の場にするかが課題です。

近年、大学ではアクティブラー
ニングの推進が求められています。
単に講義を聴いて覚えることから、
学ぶ者が能動的に課題を発見し解決
する学びであって、主体的に考える
力を養うものです。大学でのゼミ・
卒業研究はその典型です。本学でも
地域をテーマに探求・実践企画参加
の授業や卒業研究・制作などがあり
ます。しかし、よく考えると私たち
の子供の頃でも小学校では、このよ
うな学びの実践が行われていたよう
に思います。「どうするか考えてみ
よう」との先生の指示により、校庭へ
散って植物を探したり、子供同士で
話し合いを始めたたりした記憶があり
ます。時代とともに子供たちは日常
の中で行うべきことが増え、安全の
問題も関係し、周囲の環境や人々と
の接触をする機会が減ってきたと思
います。



そこで、地域・企業・行政の力を
借りて、小中高の児童・生徒さんた
ちとも協同した大学での学びを考え
ています。本学では高大連携・地域
連携の活動を行っており、昨年、地元
の市民・小学生と大学が協同で藤川
宿での古建築再生を行いました。こ
れをより発展させ共に学ぶことを行
いたいと考えています。地域や市民
に役立つような実践的学びを通じ
て大学が地域貢献することは重要
なことと考え、進めていきたいと思
います。

(ほりこし つつみ)



その土地の人のために
料理を作る

オーナーシエフ

宮田 拓矢 氏

「地元の食材を大切に、テロワール(大地)を表現したい」と思い料理を作っています。」

料理に込める思いを熱く語る宮田氏だが、若いころ一時は料理人をやめようと思ったこともあるという。「いつかは独立して店を持つ料理人をめざしたい。そのためには早く働いた方がいいな、と思い、名古屋のホテルに料理人として就職しました。」いざ働き始めると、専門学校を卒業し基礎知識のある仲間と、何も知らない自分とのギャップに悩む日々。叱られたくなかったら勉強しなければならぬ。最低でも五年間は続けて、最後にフランスで本場の料理を見て

辞めようかな、と思いました。」

そして二十三歳で単独フランスに渡り、無給の屋根裏部屋生活が始まる。「持っていたお金が底をつきそうになったころ、働かせていただいた店主から、就労ビザを下ろさせてやるからもつといてくれ、と言われました。最初は荷物の積み下ろし等から始まり、だんだん食材のさばき方を教わっていきました。」

帰国後、ここで辞めたらもつたない、と考え直し、東京のフランス料理店に就職した。教えていただいた味を再現できるように、しばらくすると、在ドイツ日本大使館を紹介される。

「それまでは、言われたことだけをやっていただけで、三度の食事や接待メニュー決めから調理まで全部自分の仕事になりました。市場への買い付けも自分です。私一人しかいなかったので大変でした。来る人たちも当時の首相をはじめ、経済界の方も多くいました。初めはビッグネームに押されていました。慣れるとだんだんやりがいを感じるようになってきました。」

その後、宮内庁大膳課に移り、天皇家の食事を作っていたが、いよいよ人生の岐路に立つ。

「偉大なフランス料理人フェルナン・ポワンが、『若者よ、故郷へ帰れ、その地の市場へ行き、その土地の人のために料理を作りなさい。』という言葉を残しています。宮内庁に残

るか、地元に戻るかで悩んでいたとき、この言葉が心に浮かびました。料理の世界に入ったころの初心に戻り、より多くの人に私の料理を食べてもらいたい、地元で愛される店づくりをしたいと決断し、岡崎に店を構えました。」

今の思いをこう語る。

「フランス料理ですから、フォアグラやキャビアなど、お金をいただく以上は、高級食材を使わなければいけないところもあります。今は日本全国から食材を取り寄せることも可能ですが、できる限り、三河湾で獲れた魚、地元の農家さんや、精肉屋さんから仕入れた食材を使い、三河の食材を一つのお皿にして、お客さんに喜んでいただけたらと思っています。」

大通りから一本路地へ入った静かな住宅街にレストランミヤタはある。地元食材にこだわった宮田氏の料理への追究は、まだまだ続く。



氏名 みやた たくや
生年月日 昭和四十六年九月十七日
住所 岡崎市緑丘

羅針盤

英語が話せる
おかざきつ子を育てる

本宿小学校長

福田 貴子

「Excuse me. Can I talk to you?」

京都・奈良での班別活動の時間、外国人の姿を見つけた子供たちは、躊躇することなく、話しかけていった。本校の六年生は、学んだ英語を活用

する場として、毎年「修学旅行先で外国人と話す」活動を行っている。これまで、岡崎市の紹介や写真を撮るなどの課題を入れてきたが、今回は「サインをもらってくる」課題を加えた。子供たちに「書くこと」への興味関心をもたせたいと考えたからである。

「Sign please」としおりを差し出す子供たち。アメリカやカナダ、フランスなど、さまざまな国の人たちのサインが書き込まれていった。活動を終え、「アリスさんはフランス人だ」「ドイツの人も多かったよ」と話す子供たちの表情には、喜びがあふれていた。この姿は、六年間、先進的な岡崎の英語教育で、「聞く」「話す」



心をつなぐ

私たちだけの歌

竜谷小
太田 由惟

歌には不思議な力がある。歌う度に歌詞の意味が心にしみ込んでくる。自分たちが作った歌詞ならなおさらだ。そんな思いから、毎年私は子供と共にクラスの歌を作っている。そして今年も五年担任。山の学習では火舞いに合わせてクラスの歌を歌いたい。クラス全員で歌詞を創り上げたい。

そんな思いを子供たちに伝えた。みんながやる気になっていいるなかで、唯一表情が変わらなかつたのがA子だった。

A子は、胸の内では思いや考えをもっているが、それを積極的に表現することが苦手な子だ。そこで、A子が興味をもっているTVドラマの主題歌の替え歌作りをすることで、A子にもクラスの歌作りに興味をもってもらいたいと思い提案した。

曲名を伝えたところ、A子の顔が急に上がった。目が少し輝いた気がした。しかし、A子は黙って意見を聞いているだけで、どう表現したらいいか迷っているようだった。すると、A子は話し合いに参加し始め、「歌詞をもうちょっと考えたいから家で考えてきてもいいですか」と、授業後に真剣な顔で話しかけてきた。正直、私に自ら話しかけてきたことだけでも驚いたのだが、翌日、「先生、今日の歌詞決めの授業、すぐ発表になりますか。その前にグループで話し合う時間が欲しいです」と言いに来て、さらに驚いた。

「みんなで山の学習の準備で歌を作り始めたら、なんだか楽しくなって。二十三人が輝くといいなあと」と、自分の思いもつけ加えながら家で考えてきた歌詞をグループで伝えた。「確かにそうだね。由惟先生も入れて二十三人っていうのもいいよね」と、グループの子たちが共感し、代表で発表することになった。

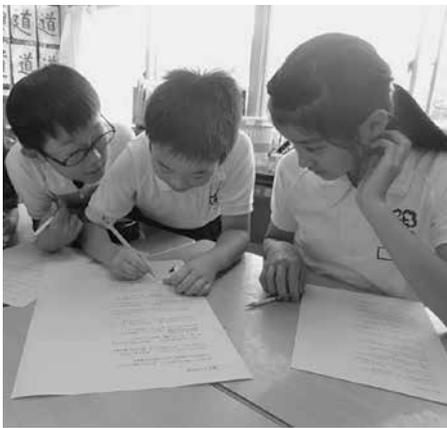
みんなから称賛されると、硬かったA子の表情が崩れ笑顔になった。歌詞が採用されると、小さくガッツポーズする姿も見られた。その姿に、私も心の中で大きくガッツポーズをした。

それからA子は歌作りに没頭していった。日記の題材も歌作りばかりで、初めて見る意欲的な姿だった。「私は個人的にこれが好きなんだけ

ど、あなたはどれが好き」とA子の日記の内容について声をかけると、表情はさらに明るくなっていった。「歌が完成するのも楽しみだけど、みんなで考えているときが楽しいから、終わってほしくない気がする。」「なるほどね。でもさ、歌が完成したら、この歌を歌っているときがもっと楽しい時間になると思うよ。」「確かにそうかも。私たちだけの歌だもんね。」

会話も弾むようになった。みんなで歌ったキャンプファイヤーの終了後、A子の目から、すっと涙がこぼれた。「私この歌、もっと好きになっちゃったかも」と、A子がつぶやいた。

自分たちだけの歌を歌い続けることで、クラス全員の一体感を感じるとともに心地よさも伴うようになる。そして思い出と共に、ずっと心に残るだろう。



力を培ってきた成果であるとともに、本校が地道に実践に取り組んできた成果である。

本校は、担任・ALT・ST三者で行うオールイングリッシュの授業を継続してきた。担任が子供の姿を思い浮かべながら授業構想を練り、指揮をとる。ALTは英語を話すモデル、STは担任と子供の支援、そして、担任は英語を使おうとするモデルの役割を果たす。たとえオールイングリッシュであっても、子供たちは安心して授業に参加できる。そこには、試行錯誤しながら、指導法の開発や教材づくりを構築してきた教師の学びがある。

次期学習指導要領では、小学校中学年から外国語活動、高学年から教科としての指導を導入することが文部科学省より示された。本市では、自作教材「OK English」を使ったモジュール学習と、ALTやSTとの英語活動の授業が定着し、他地区のモデルとなっている。この取り組みを基盤に、新たな岡崎の小学校英語教育のあり方を考えていきたい。校長のリーダーシップのもと、担任が「英語を話そうとするモデル」となり、子供たちとともに学んでいくことが一層重要になるだろう。そして、小・中九年間を通して「英語が話せるおかざきっ子」を育てたい。

ま> 保育園

・保育
・0歳～5歳児の
保育を必要とする子供
機能付加

おける
て支援

子育て家庭を
子育て不安に
相談や親子の
の提供などを

を、
県が認定

いては3歳～5歳児が対象



岡崎の認定こども園

▲「子育て広場」事業を利用する親子（豊富保育園）

認定こども園は、就学前の教育・

保育を一体的に行える、幼稚園と保育園の両方のよさをあわせもつ施設である。三歳以上の子供については、保護者が就労にかかわらず利用でき、就労状況が変化した場合でも、通い慣れた園を継続して利用できることが特徴である。さらに地域への子育て支援の役割も留意されている。

岡崎市においては、平成十九年度に、豊富保育園と形埜保育園が、認定こども園としてスタートした。額田地区には幼稚園がないため、入所要件を満たさない子供も集団生活が経験できるように設置された。そして平成二十九年四月からは「梅園幼稚園」「広幡幼稚園」「矢作幼稚園」の三園も、認定こども園としてスタートする。その背景には、市全体の保育需要の高まりがある。

市の三歳から五歳児の人口は、平成二十三年度から二十七年間の五年間で約四六〇人増加している。幼稚園の利用者は、ここ数年横ばいの状況となっているが保育園の利用者は、平成二十六年度から大きく増加している。

岡崎の認定こども園が拡充されることよって、子育ての支援の質が高まり、岡崎の子供たちがより豊かに成長できる環境が整うことが期待される。



▲健康教育の講演会
(梅園幼稚園)



▲風船を使った交流会
(豊富保育園)

岡崎市こども部保育課

保育指導担当課長 鈴木岸子氏

認定こども園になったことで、地域における子育て支援を担うことになりました。入園前の子供と保護者が利用していて、子育てへの不安をもつお母さんからの相談をお受けすることもあります。

また、この地域における子育て支援の取り組みに参加することによってお母さん同士のネットワークも築かれるなど、認定こども園は就学前の幼児教育・保育ニーズに応えています。

〈岡崎の認定こども園のタイプ〉

保育所型（豊富保育園・形埜保育園）

認可保育所が、保育が必要な子供以外の子供も受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園としての機能を果たすタイプ

幼保連携型（梅園幼稚園・広幡幼稚園・矢作幼稚園）

幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせもつ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプ

幼稚園型

認可幼稚園が、保育が必要な子供のための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園としての機能を果たすタイプ

地域裁量型

幼稚園・保育所いずれの認可のない地域の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たすタイプ

〈認定こども園と〉

幼稚園

- ・ 幼児教育
- ・ 3歳～5歳児

機能付加

就学前の子供に
幼児教育・保育を提供

保護者が働いている、いないに関わらず受け入れて、
教育・保育を一体的に実施

地域に
子育て

すべての
対象に、
対応した
集いの場
実施

以上の機能を備える施設
認定こども園として都道府県

※梅園・広幡・矢作幼稚園の認定こども園への移行につ

幼児教育・保育を提供



▲ 夏野菜栽培の準備
(広幡幼稚園)



▲ 年賀はがきの投函
(梅園幼稚園)



▲ 親子で参加の運動会
(矢作幼稚園)



▲ プロの方を招いての音楽鑑賞
(形埜保育園)

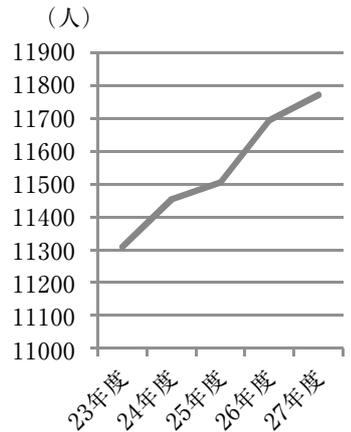


▲ 父親とのカレー作り
(矢作幼稚園)



▲ 夏祭りごっこの店の看板作り
(広幡幼稚園)

岡崎市の三歳から五歳児の人口推移



地域における子育て支援



▲ 老人クラブ睦会との交流会
(形埜保育園)



● 教育最新情報

◆ 来年度の研究発表表

来年度の市委嘱及び自主発表校の研究主題と公開する授業の教科・領域は、次の予定である。これからの研究、研修の参考にしてほしい。

○ 市委嘱研究発表

- ・北野小学校（国語科・算数科）
- 「すべての子供が楽しく参加し、わかる喜びを実感できる授業—ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業づくり—
- ・竜美丘小学校（道徳）
- 「豊かな心を持ち、21世紀をたくましく生き抜く子ども」の育成—道徳教育を中核とした教育課程を通して—

・福岡中学校（全教科）

「能動的に学ぶ生徒の育成—見通す、かかわる、振り返る—授業づくり—

○ 自主研究発表

- ・竜海中学校（全教科・特別支援）
- 「竜海中学校第11次研究（三年次）チャレンジ 竜海式 Active Learning—ロミュニケーションを取り入れた教科学習を中心に—」
- ・連尺小学校（算数科）
- 「ESDの視点に立ち、算数を楽しむ子供を育む岡崎・連尺教育—コミュニケーション能力を思考力・実践力へ—」

◆ OK・TASKの導入

成績処理や出欠管理等、児童生徒に関する各種情報の一元化や共有化により、校務の効率化を図る校務支援システムOK・TASKの導入が



進められている。分かりやすい画面表示や直感的に使いやすい操作性が特長で、一度入力した各種データを再利用したり、流用したりできるため、帳簿ごとに入力する手間が省ける。また、設定が容易でシステムが安定しているため、帳簿の作成時間の短縮につながると思われる。



現在、操作方法等を習得する

利用講習会として、教務主任、養護教諭、校務主任を対象とした集合形式の講習会と、インストラクターが各校で行う訪問形式の講習会が、順次

行われている。今年度末には指導要録の作成、来年度以降は出席簿と通知表の作成、保健機能の運用がスタートする予定である。

◆ 第60回小中学校書き初め展

一月二十八日（土）、から二十九日（日）の二日間、岡崎市図書館交流プラザりぶらで、小中学校書き初め展が開催された。市内の各小中学校及び聾学校七十校から、各級の代表作品一点ずつ、約一〇〇点が展示された。

今年度も、鉛筆を正しく持つて文字を書く力を付けることを指導目標とした「硬筆作品の部」を実施した。

また、第60回記念企画として、書き初め展の歩みや、特色ある書き初め行事等を行っている学校の取り組みの様子を紹介した。来場者からも、好評であった。

二日間で、多くの方が会場を訪れ、子供たちの作品を鑑賞した。家族連れで来館す

る方が多く、作品の前で語り合ったり、記念撮影をしたりする姿が、会場のあちこちから見られた。また、図書館への来館者にも作品を見ていただくこともできた。

展示された書き初め作品は、全て文集「おかげ」に掲載される。

● 表彰

◆ 全三河駅伝

- 中学校女子の部
- 優勝 矢作中学校
- 準優勝 岩津中学校

○ 中学男子の部

- 優勝 竜海中学校
- 三位 翔南中学校

◆ 全三河中学・高校東西対抗バレーボール大会

- 中学の部
- 優勝 矢作中学校

◆ 東海選抜卓球大会愛知県予選

- 男子
- 二位 常磐中学校

◆ 愛知県アンサンブルコンテスト

- 金賞 愛知県教育委員会賞（最高賞）
- 大樹寺小 金管打八重奏

金賞

竜美丘小 クラリネット五重奏

竜美丘小 サクソフォン五重奏

竜美丘小 金管八重奏

銀賞

竜美丘小 打楽器四重奏

竜美丘小 フルート三重奏

城南小 クラリネット四重奏

大樹寺小 バリ・テューバ四重奏

大樹寺小 金管八重奏

銅賞

矢作南小 金管打七重奏

竜美丘小 金管八重奏

◆岡崎市中小学生作文コンクール

○作文の部

市長賞

夏山小 市川 杏

矢作中 鈴木 尊士

市議会議長賞

岡崎小 尾崎 智也

梅園小 伊藤 慧悟

甲山中 松井 美樹

葵中 神谷 敦己

教育委員会賞

梅園小 長田 陽真

羽根小 平工 湊大

矢作西小 青木 陽菜

三島小

河合 弘美

矢作西小 青木 夕佳

矢作南小 瀧村 蓮

福岡中 佐々木鉄平

葵中 大岩 愁汰

翔南中 齋藤 彩加

○詩の部

教育委員会賞

三島小 杉田 遥香

矢作中 青山くるみ

◆JA共済小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール

交通安全ポスターコンクール

金賞 本宿小 平野義久

銅賞 交響楽 玉田昂大

福岡小 内山愛栞

城北中 安藤 碧

○書道コンクール半紙の部

銀賞 城南小 内田 結

北中 吉見 綾

銅賞 根石小 加藤佳奈枝

岡崎小 貴田美実

岩津中 安井琴菜

竜南中 吉田多映

○書道コンクール条幅の部

銀賞 大門小 林 小葉

北中 河澄 蘭

城北中 神谷千幸

銅賞

矢作南小 梅田妃佳織

三島小 判治直哉

六名小 倉地みのり

美合小 太田景輝

竜南中 吉田透吾

矢作北中 佐藤奈々

◆NHK全国俳句大会

○ジュニアの部

入選 恵田小 今井慶太

◆全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール

三位 大門小6年4組

◆ゆうちょアイデア貯金箱コンクール

すてきなデザイン・アイデア賞

三島小 大貫杏花里

◆日本こども映画コンクール

準グランプリ 北中 メディア部

◆ボランティア・スピリット賞

奨励賞(全国三位)

竜南中 竜南いのち守り隊

◆子供絵画コンクール

○小学校高学年の部

愛知県体育館長賞

羽根小 鈴木啓生

◆水質パトロール隊事業

佳作 東海中 自然科学部

●少年自然の家だより

本年度の改善点

「二発合格」を渡すようにしたため、子供たちの物品を洗う意欲が増した。

少年自然の家では、次代を担う小中学生が、自然や人とかわる多様な活動を通して、心に残る感動や困難な課題に取り組んでの達成感、仲間との連帯感、他者への思いやり等の教育的効果を上げるべく、様々な事業を展開している。本年度は、利用する小中学生の活動時間を確保し、一つでも多くの体験ができるように次のような改善をした。

①時間のかかる物品返納では、各学校の協力を得、時間短縮化に挑戦した。

②重いまな板を牛乳パックで代用することで、使用後は炉で燃やし、洗う手間をなくした。

③できる限り飯ごう持参で来所してもらい、飯ごうを片付ける時間の短縮を図った。

④包丁を子供たちの手のサイズに合う大きさに替え、扱いやすくした。

⑤物品返納の点検が、一度で合格をすると、手作りの木札

「二発合格」を渡すようにしたため、子供たちの物品を洗う意欲が増した。

②活動プログラムに時間の余裕を生み出すために、入所式や退所式、各オリエンテーションの進め方を工夫した。

③落ち葉スキー場の使用前の整備や魚つかみの水路の清掃、カヌー場の乗り場の整備など、指導員の時間の許す限り取り組んだ。

また、学校単位の利用だけでなく、少年自然の家主催の行事も活発に行ってきた。

例えば、「ネイチャークラブ」では、小学校四年生から六年生を対象に年数回にわたり、自然と文化に親しむ活動や心身を鍛練する活動、飯ごう炊飯などのふれあい活動を実施した。さらに、月に一回程度の間隔で、ホテルに親しむ会やミニ門松作り、星空に親しむ集いなどの親子で自然に触れる催しを企画した。

子供たちの体験がより豊かなものになるように、こうした本年度の改善点を検証し、次年度の準備を進めていく。

・カ
ツ
ト
岩津小
鳥居光世

二階建て体育館 (昭和57年)

写真提供：矢作北中学校

体育館完工の嬉しさを体全体で表現する生徒たち。特に運動場で練習していた剣道部、バレーボール部、バスケットボール部の部員たちにとっては喜びの日となった。

開校二年目の昭和五十七年に建設された体育館は、一階が武道場、二階が体育館である。市内の小中学校では初めての試みで、当時は県下でも少ない二階建ての体育館であった。

その形は現在も当時のままであり、行事・授業、部活動など幅広く使われている。本校以後に開校した中学校の多くはこの二階建て体育館であり、市内中学校のモデルとなった。



保育を取り巻く環境に変化が起きている。子育てに苦悩する家庭を支えるために、地域における子育て支援も始まった。

子供を育てる親が、安心して過ごせる社会を目指すために、今までの枠組みを越えて地域と協働する。子供の育て方が、昔のよき時代に戻りつつある。

ときめきを胸に中学の門をくぐったあの日のあどけなかつた顔つきはたくましくひきしまり、進路決定という人生初の大壁に立ち向かう。

不安や孤独と戦うこの子らにできることは、心を寄り添わせること。

春はもう、そこである。

ど ホ ツ 如 月



ゆきだるまづくり (井田小)

ツバキの花が満開になる二月。ダイコンやゴボウ、ハクサイなど、たくさん旬の食材がある。食材の時季と場所を選び、そのよさを生かした料理をいただくことは、とても贅沢なことである。

岡崎の大地の恵みを感じること、あらためて郷土の魅力を発見できる。



*みかづき
集英社

森 絵都
¥1,850

心に残った一文

常に何か欠けている三日月。教育も自分と同様……。欠けている自覚があればこそ人は満ちようと研鑽を積む。

「学校が太陽だとしたら、塾は月のような存在」という主人公の妻。昭和から平成にかけて、学習塾を営む家族の愛情やすれ違いの苦闘を通じ、教育に何を求めるのか、という葛藤が描かれている。

私たちは岡崎の教師として日々努力をし、誇りをもち続けたい。そのために、教育に真摯に向き合うが、成果は教師の生きざまによって違う。

だからこそ、時には違う目線から教育に携わるものの役割について見直すことが大切なのではないだろうか。

*人間の煩惱
幻冬舎

佐藤 愛子
¥780

*ほめると子どもはダメになる
新潮社

榎本 博明
¥720

*私とは何か
講談社

平野啓一郎
¥740

甲山中

川口 厚